

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	多世代交流型こどもカフェ事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 Hug 090-7177-0999
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	827,505 円

事業内容

「こどもカフェ Hug (ハグ)」

- ・様々な背景をもつ子ども達に対し、地域の食材を取り入れた温かい夕食や昼食の提供及び学習支援をおこない、地域の中で多世代が共に関われる温かい居場所作りを実施した。
- ・調理や配膳、遊びや学習支援などで地域のボランティアの方に参加頂き、子ども達と様々な大人が関われる場面を積極的に設けた。



開催日時：毎週木曜日 18:00～21:00
第2、4土曜日 11:00～15:00
その他個別の学習支援や相談支援など随時

【目標・ねらい】

- ①多世代が共に関わる
- ②子どもを多面的にサポートする
- ③地域のネットワークを深める
- ④世代を超えた居場所を作る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・年間65回実施／こどもカフェ利用者数 延べ1459名
(おとな512名、子ども947名)
ボランティア参加者数 延べ116名

- ①親子連れから学生ボランティア、高齢者の方まで多世代の利用があった。
- ②学習や宿題の支援、遊びや会話、配膳手伝いなど、食事だけでなく多くのサポートや関わりができた。
- ③乳幼児連れの親子の利用も多く、子育て世代の方の相談機能や食材の寄付など、新しいつながりが生まれた。
- ④退職した高齢者の方や主婦の方がボランティアとして参加してくれ、持ち味を発揮できる場となった。

※自己評価【A】

【理由】

毎回20～30人ほどの利用者に増え、その他食材の寄付やボランティア参加など、多くの地域の方を巻き込む事業となったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・利用者が増え地域の賛同も多く頂くようになったため、今後も継続して利用できる居場所作りを実施する。(専用の事業所の整備を視野に入れる)
- ・学習支援へのニーズが高いため、スタッフの研修をおこない学習支援体制を整える。
- ・活動の発信を積極的におこない、必要としている家庭に情報を提供する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある